

生産の最前線を見た！

2017年3月

三菱自動車パワートレイン製作所見学ツアー報告

同志社中学校数学科

2017年3月14日、指導期間中の課外授業として、三菱自動車パワートレイン製作所（京都工場 京都市右京区太秦）を訪問しました。パワートレインとは、自動車の部品の中でエンジンを始めとする動力に関係するものの総称です。日本語では伝達装置、駆動装置などと言います。

最初に、本校生を迎えてくださった河野さんから映像とともに、京都製作所の説明を受けました。京都製作所は1944年にできた歴史ある工場です。四条通りに面した工場の敷地面積はなんと29万2000㎡、同志社中学校の3倍の広さです。



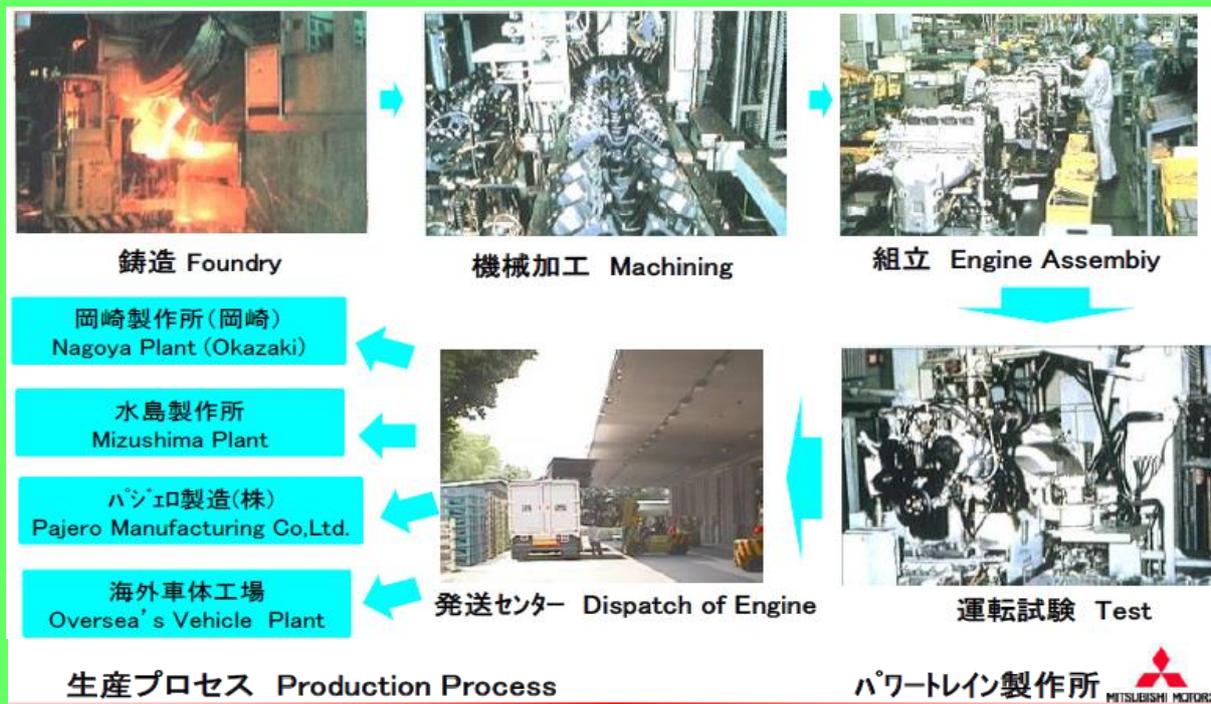
次に、工場内にあるものづくり文化館を見学しました。ここには、第二次世界大戦後すぐに作られた小型自動車用の三菱500というエンジン他、ここで作られてきたエンジンやシリンダーが展示されています。



エンジンが動きだし、左右にハンドルを操作し、そして止まるまでを実際に見ることができました。

エンジンは3500個から4000個の部品、自動車1台は25000個から30000個の部品でできているそうです。

この後に、実際に製造工程の見学で、第6工場、第1工場を見学しました。ここから先は撮影禁止になります。第6工場は工作機械がエンジンやシリンダーなどを作る場所、第1工場は各部品を組み立てる場所になっています。第6工場で新旧の工作機械を見学しましたが、新しい機械は1台で穴を開けたり、金属を削ったりできるので製作スペースが省略されているとのこと。同じ理由で組み立てラインでは以前よく見かけたベルトコンベアはなくなり、無人ロボット「クリーン君」が私たちの横を通って、部品を組み立てラインへ運んでいました。また、作業員の方の人数が多い第1工場では音楽が流れていて、働きやすい環境づくりが工夫されているのが印象に残りました。(今回は下の写真の機械加工と組み立て工程を見学しました。)



現在、日本国内を走っている自動車は7700万台、世界では12億台が走っているそうです。最後に、河野さんから現在、自動車の多い国はアメリカ、中国、日本の順ですが、今後、中国が世界一になる情勢なので、そのことも考えながら経営を進めていく必要があるというお話をされて見学は終了しました。



今回の見学を準備、運営してくださった三菱自動車パワートレイン製作所京都工場の皆さん、ありがとうございました。
(文責 園田)